

第23回大学病院の緩和ケアを考える会総会研究会

リアルキャンサーボード—全人的視点で考えるがん治療と緩和ケア—

当番世話人：藤本肇・相澤佳代子（防衛医科大学校病院）

日程：2017年9月16日（土）

会費：会員1000円 非会員5000円 防衛医科大学校関係者1000円 学生無料（社会人学生の場合有料）

会場：防衛医科大学校（臨床大講堂）

11:30 総会 代表世話人 高宮有介（昭和大学医学部医学教育学）

11:45 ランチョンセミナー（弁当購入予約制：1200円茶付・弁当持ち込みも可）

「海外での多職種連携のキャンサーボード」

座長 山本順司（防衛医科大学校病院肝胆膵外科）

講師 森雅紀（聖隷三方原病院緩和ケアチーム）

13:10 研究会開会挨拶 浅野友彦（防衛医科大学校病院 病院長）

13:15 病院医師会長挨拶 古谷健一（防衛医科大学校病院 副院長）

13:20 当番世話人挨拶・開催趣旨説明

13:25 リアルキャンサーボード「骨盤内再発と骨転移を来した直腸がん患者の治療と療養を考える」

座長 斎藤真理（横浜市立大学附属市民総合医療センター化学療法緩和ケア部）

藤本 肇（防衛医科大学校病院緩和ケア室）

ミニレクチャー

「骨転移に対する放射線アプローチ」北本佳住（高崎総合医療センター放射線治療部）

「がん性疼痛に対する神経ブロック」西木戸修（昭和大学横浜市北部病院麻酔科）

「骨転移の包括的ケア」高木辰哉（順天堂大学医学部附属病院整形外科・リハビリ科・緩和ケアセンター）

「治療併用期の緩和ケアと治療終了期の緩和ケア」中村陽一（東邦大学医学部臨床腫瘍学講座）

キャンサーボード パートⅠ「治療面からの事例検討（フロア・講師を交えて）」

ワンポイントレッスン

「看護師としての退院支援への関わり」塩井厚子（埼玉医科大学国際医療センター退院定員支援室）

「MSWとしての社会・経済的な支援への関わり」黒川清美（防衛医科大学校病院地域医療連携室）

キャンサーボード パートⅡ「療養面からの事例検討（フロア・講師を交えて）」

座長による事例総括

17:00 特別講演「抗がん剤中止をどうやって患者さんに伝えればよいか？」

座長 穂苅量太（防衛医科大学校病院消化器内科）

講師 勝俣範之（日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科）

18:00 来年度開催校の紹介

18:05 閉会挨拶 蒔苗奈都代（防衛医科大学校病院 看護部長）

18:10 閉会宣言・解散

事前登録された方しか入場いただけませんのでご注意ください～締切8月31日17:00厳守（弁当同時締切）

下記事務局宛にお名前とご所属、職種をご連絡ください。

大学病院の緩和ケアを考える会 事務局 Email：jimukyoku@da-kanwa.org

ホームページ：http://www.da-kanwa.org（ホームページ問い合わせ画面からもお申込みいただけます）

主催：大学病院の緩和ケアを考える会・防衛医科大学校病院緩和ケア室

後援：防衛医科大学校医師会